



特徴

- 3-way ハイパワー ラインアレイシステム
- CST™を搭載した拡張性の高いシステム (al-12をal-8やal-4と組合せてハイブリッドアレイの構築が可能)
- 最先端のトランスデューサ・デザイン
- VueDrive™システムエンジンと SystemVUE コントロールの連携
- VUEPointビームステアリングに完全対応
- 短時間でのアレイの組立を可能にするal-Class共通のフライングハードウェア
- フライング可能なal-12SBや他のVUEのパワフルなサブウーファーとのペアリングが可能。
- オプションとしてフライング・キット、運搬用のアクセサリ

説明

al-12は、従来のVUE al-Classの持つ先進的なトランスデューサー技術と画期的なDSPとの組合せを、規模の大きな音響現場に提供して「音響」のハードルを持上げることに成功しました。

al-12は、大規模な音響現場に対応するために、システムの基本から設計されました。

Al-Classの他のシリーズとアレイを組んでも「ラインを壊さない」というユニーク能力を持っています。

al-12ラインアレイシステムは、他のal-Class, al-4やal-8と同様にVUEの最先端技術と革新的なデザインを採用し、ジャンルを選ばない多用途性と優れたサウンドパフォーマンスを実現しています。拡張度の高いal-12は、専用の3インチベリリウムコンプレッションドライバやケブラーコーン/ネオジウム LFドライバー、そして DSP など VUEの持つ高度なテクノロジーと制御ソフトSystemVUEやVUEPoint beamテクノロジーなどを他のal-Classと連携することにより、音響現場の主軸として幅広い用途に最高のパフォーマンスを提供することができます。

al-12ラインアレイシステムは、al-12エレメントとVUE Drive™ V3 System engineで構成されています

V3は、洗練されたDSPアーキテクチャと内蔵されたSystemVUEネットワーク機能により、直感的なSystemVUEソフトウェアを介してリモート管理とコントロールが可能なネットワークを簡単に組合せることができます。

1 台のV3 System Engineは 2 台のal-12エレメントをドライブすることができます。

V3 System Engineは、低域と中域の各チャンネルに2500w 高域に800wの専用アンプが搭載されています。

V3には、アナログ、AES入力とイーサネットベースのSystemVUE リモートコントロールが装備されています

デザインノート

al-12 エLEMENTには、VUEがal-12のために特別に設計したトランスデューサーを搭載しています

al-12のために新しく開発された12インチ ネオジウムLFトランスデューサーのペアが、MF用4インチのケブラー加工されたネオジウムドライバー 6 台の外側に配置されています。MFドライバーは、HFとMFセクションの位置やユニットサイズを他のal-Classと同じにして、al-12とal-8やal-4が同一アレイで構成された時に、音のラインを崩すことが無いように設計されています。al-12はal-8よりも10db出力が大きくなる設計しました。

al-ClassのMFドライバーは、高い効率性と低歪率を目指して一から設計されています。

HFには1.4インチスロートのネオジウムコンプレッションドライバーと3インチのTruextent®ベリウムダイアフラムを採用しています。ベリウム技術により、従来のアルミやチタンの設計では実現できなかった高域の伸びとレスポンスのリニアリティが劇的に改善されました。

al-12HFドライバーはまた、人間の聴覚範囲(-10db@28k)を超えた高音域再生を可能にするベリウムダイアフラムに新しいフェイズプラグ組込みました。これによりベリウムコンプレッションドライバーは、音響的な曇りを低減させラインアレイの理想的な形を実現する事に成功しました。

al-12のエンクロージャーは、12層のデュラコートペインティングで処理された強靱なバーチ合板で制作されています。

専用のフライバーは、1基あたり16台のal-12エレメントを連結して使用できます。

リアのI/Oパネルにはエレメントのデジチェーン用にNL8ソケットが2基用意されています。

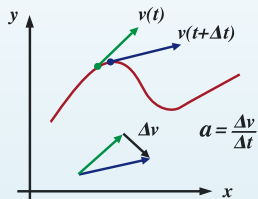
リギングオプションにより、フライングとグランドスタッキングが可能です。



TRUEXTENT® ベリウムの優位性

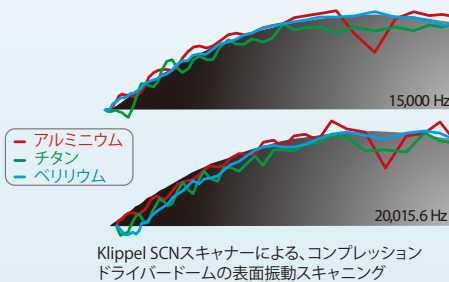
質量が小さいほど反応速度は早くなる

ベリウムは、コンプレッションドライバーのダイアフラムに使用される金属の中で、密度と質量の比が最も低い金属です。

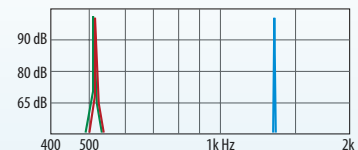


加速度は速度の変化率です。密度は単位体積あたりの質量を表します。全体の質量が小さいほど反応速度が早くなり、能率と音質の両方が向上します。

ベリウムのほぼ完全なピストン運動は、その非常に高い剛性と質量の比に起因し、機械的変形(破壊)を劇的に低減し、可聴範囲外の共振周波数に反映されます。



Klippel SCNスキャナーによる、コンプレッションドライバードームの表面振動スキャン



アルミニウム音叉 55.7 g 510Hz
チタン音叉 93.7 g 505Hz
ベリウム音叉 38.5 g 1340 Hz

全く同じサイズで作成された音叉を比較した場合、ベリウムの共振周波数はチタンやアルミニウムで作成された音叉の2.6倍高い周波数である。

CONTINUOUS SOURCE TOPOLOGY™

VUE al-Classラインアレイは、シリーズのal-4, al-8, al-12をどのように組合せても中高音域帯の持つ特性を1つのアレイとして構成できるラインアレイシステムです。

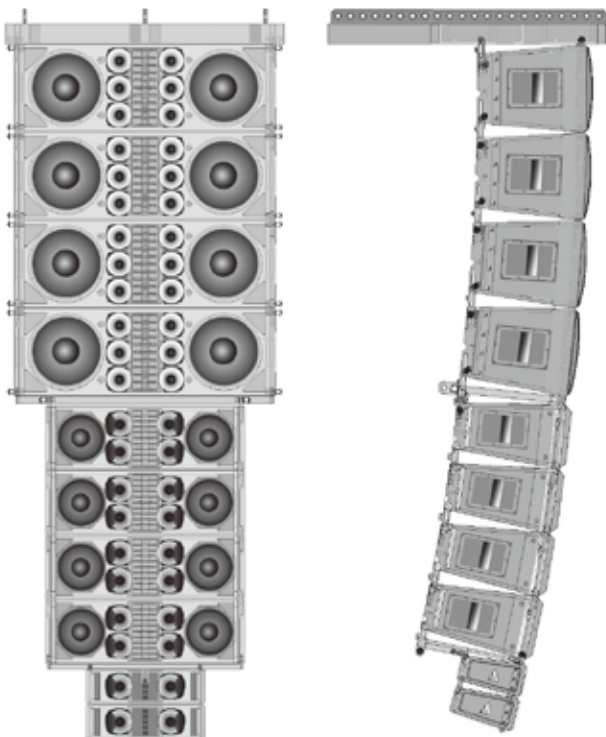
この設計思想により、システムの構成に柔軟製のあるデザインが可能なシステムです。

指向性、音圧レベル、サイズ、重量にいたるまで、全てのパラメーターが最適化され、事実上シームレスなアレイ構成が出来ます。

これにより、あらゆる音響環境にふさわしいシステムを経済的にも無駄のない形でデザインする事が出来ます。

MFドライバーとHFコンプレッションドライバーは、VUE Driveシステムエンジンに内蔵されたDSPを介して、最適なクロスオーバーポイントを設定し、使用環境に合わせた出力管理を行うよう設計されています。

al-ClassのHF/MF/LFのそれぞれのドライバーには、MFにベリリウムダイアフラムを採用するなどの独自のアーキテクチャーを持っています。そしてそのアーキテクチャーは全てのal-Classラインアレイシステムに共通しています。その結果、al-Classはどのような組合せでも連続的な音響直進性を持っています。



SystemVUE ネットワーク

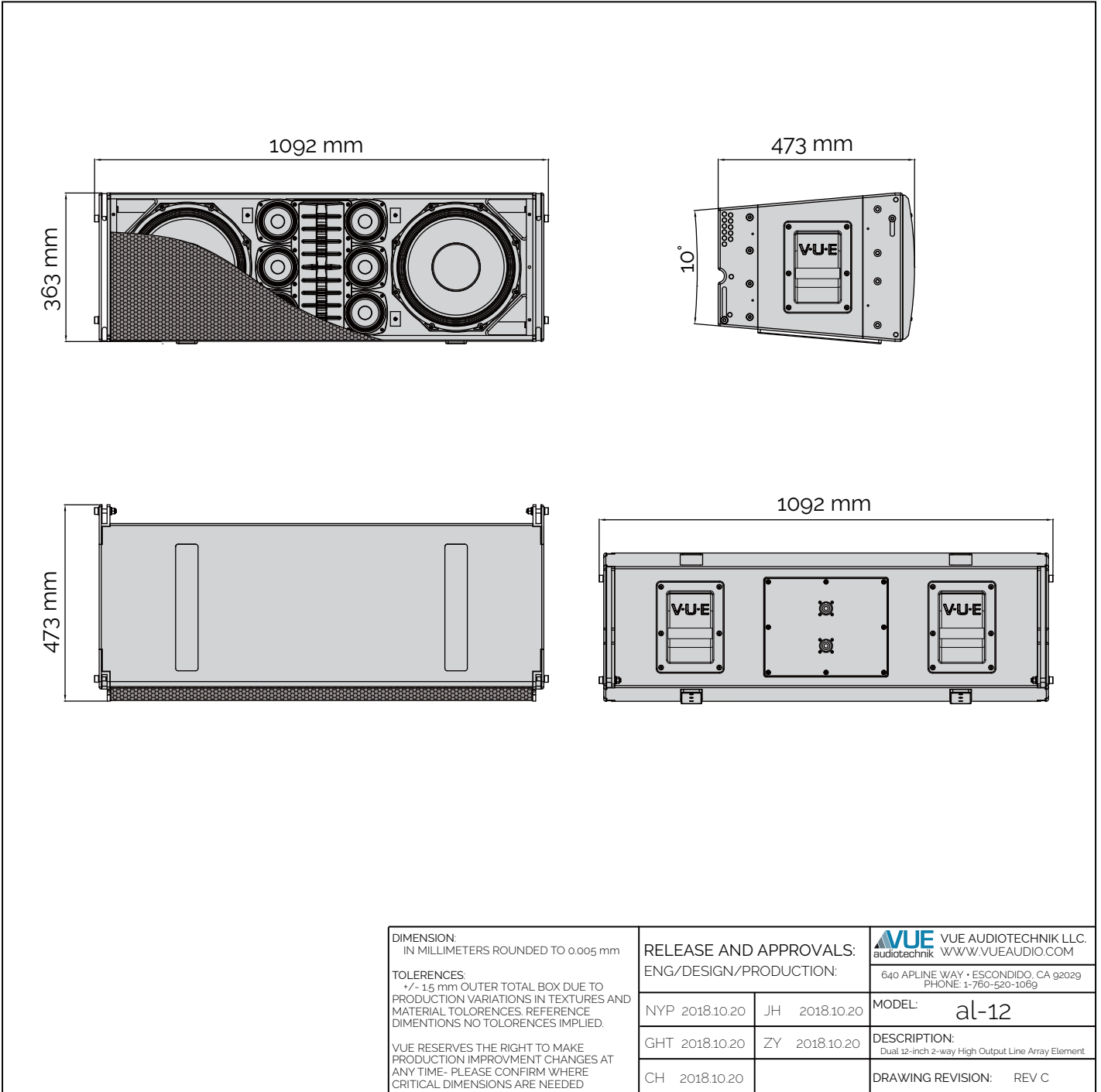
al-12ラインアレイシステムは、al-12 エlementとV3 System-Engineで構成されています。

V3は、スピーカーマネジメント機能を備えたDSPを内蔵したアンプシステムで、SystemVUEソフトウェアを介してal-12のリモート管理とコントロールが可能なネットワークシステムを簡単に構築することが出来ます。1台のV3は、2台のal-12エレメントをドライブする事が出来ます。V3は低域および中域用にそれぞれ2500w、高域用に800w の出力のアンプが搭載されています。V3はアナログのXLRとデジタルのAES/EBUの入力を持ち、システムコントロールのためにEtherNETシステムを内蔵しています。

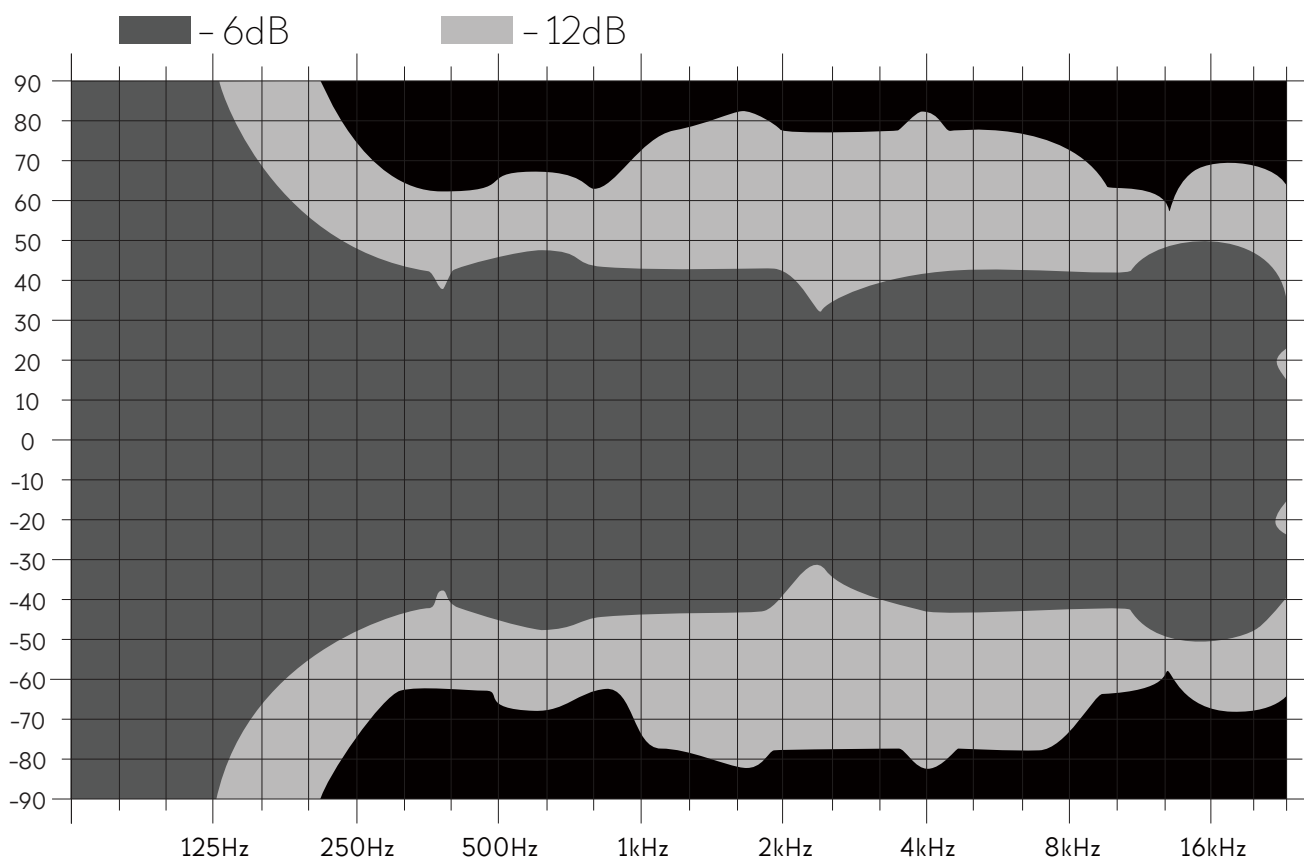
VUEはal-12と共にフライング可能なモジュラーアンプシステムを開発中です。これはV3と同じDSPを内蔵し、よりクオリティの高い性能を持っています。al-12システムは、16台al-12エレメントと8台のV3をひとつの構成単位としています。このブロックを組合せることにより大規模なシステムを構築します。

より強力な低域を必要とする用途のために al-12SBが用意されています。al-12SBはデュアル18インチネオジウムウーファーを搭載したフライアブルなサブウーファーシステムで、非常にコンパクトなエンクロージャーにも関わらず、40Hz以下の低域までしっかり再生する事が出来ます。またal-12は、VUEのhs-221やhs-28と言ったパワフルなh-classサブウーファーを含む様々なVUEサブウーファーと互換性を持っています。

al-12 寸法図



水平方向拡散MAP



水平方向拡散

VUE a1-Class | a1-12